

青少年の社会活動参加や総合的な地域・世代間交流の拠点であり、地域の方に楽しんでいただけるイベントの開催のほか、施設の開放・貸出も行っています。



明治10年(1877年)、御用水と平行して開削された人口河川で、その事業に携わった愛知県技師「黒川^{はるよし}治愿」に由来しています。黒川樋門から朝日橋までが「黒川」と呼ばれています。



③稲置街道（木曾街道、上街道）
元和3年（1617年）、尾張藩家老が犬山城主になったことで本格的に整備された名古屋城と犬山を結ぶ藩道で、さらに中山道へ至り江戸への参勤交代にも使われました。



名古屋城築城の際、北東（鬼門）の護りとして、現地に遷座されました。8つの神を祭っています。境内に「明治天皇清水御小休所」（明治13年巡幸時）の碑があります。



名古屋城の鬼門除けとされ、境内の梵鐘“歓喜”(写真)は、芸術家・岡本太郎によって昭和40年(1965年)に作られました。



天正5年(1577年)創建。本尊は織田信長秘仏の快慶作・阿弥陀三尊仏であり、古くは久国寺と広い敷地を並べていました。大仏が目を惹きます。



明治44年（1911年）、瀬戸電気鉄道（昭和14年名古屋鉄道と合併）が大曾根から延伸し土居下経由で堀川まで開通し、昭和53年（1978年）、栄町まで乗り入れました。東大手駅から森下駅間は、平成2年（1990年）に高架化されました。



文政6年(1823年)、熊本の僧・豪潮寛海がこの地へ移しました。大杉の豪潮寺(⑧')は、豪潮寛海の亡くなった場所です。山門に昭和20年(1945年)5月の空襲の跡が残っています。



式内社（927年編さんの書物に記述があります）。主祭神は天之多奈波太姫命（天之棚機姫命）。夏の例祭（旧七夕）には
 笹飾りが登場します。



明応4年(1495年)創建。1600年代前半に豪力な僧が名古屋城で不要になった門扉を担いで持ち帰り、寺の山門に使用したといわれています。



このマップに記載されている史跡等については、
主に下記の文献をもとに作成しました。

北区誌、北区の周けし・おもしろスポット、
清水小学校100周年記念誌、中日新聞、
名古屋鉄道百年史

このマップに記載されている史跡等については、
主に下記の文献をもとに作成しました。

北区誌、北区の周けし・おもしろスポット、
清水小学校100周年記念誌、中日新聞、
名古屋鉄道百年史